

京のセントラルパーク、歴史と自然のストック
京都御苑の魅力を発信

京都御苑



NEWS

Kyoto Gyoen
National Garden
News



spring
春
第137号
2018.3.1

京都御苑ニュース

CONTENTS

- ▶ 江戸から明治へ京都御所と御苑の歴史を綴る
- ▶ 自然を心の目でみよう
- ▶ 苑内利用者の声
- ▶ 学生コラム ー同志社大学ー
- ▶ Information



京都御苑・近衛邸跡の枝垂れ桜

江戸から明治へ京都御所と御苑の歴史を綴る (前編)

明治維新は平安遷都以来の京の都が江戸(東京)へと移る大きな歴史上の転換点であった。近年江戸時代の天皇や朝廷の研究が進み、幕府と朝廷との関係などが明らかになってきた。江戸期から明治期にかけての京都御所や京都御苑などを舞台に繰り広げられた歴史について、京都大学人文科学研究所長の高木博志教授に前・後編にわたり語っていただく。

高木博志

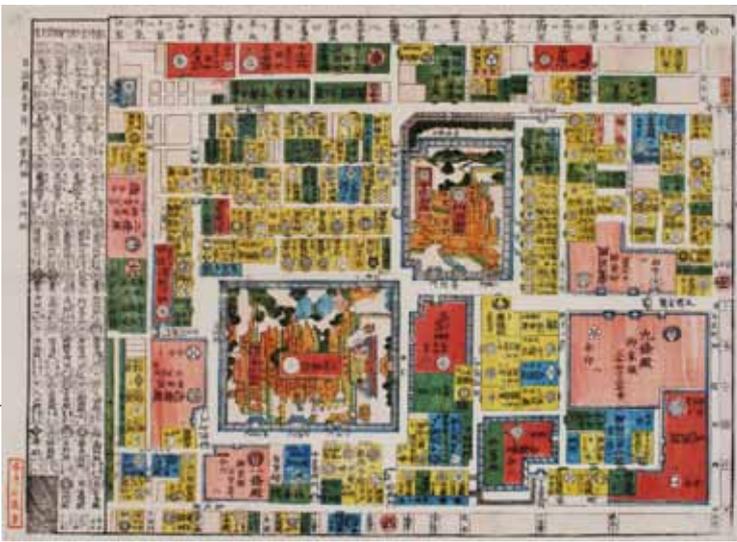
一九七〇年代に私たちが高等学校で日本史を学んだとき、教科書では、一七世紀初頭の禁中並公家諸法度の制定、後水尾天皇の紫衣事件など、幕府による朝廷統制の時代の記述があつて、その後、空白の二百年間となった。ところが一八五三年にペリー来航を契機に、帽子から鳩が飛び出す手品のように、急に朝廷の権威が浮上し、尊王攘夷運動から一八六七年の王政復古の大号令が出され、幕府は瓦解するとされた。一体、江戸時代の二百年間、天皇や朝廷は名目だけの存在であったのか、という疑問が残った。

それに対して、その後、宮地正人氏や高埜利彦氏が、幕府の政治権力に対して、いわば朝廷独自の役割として、門跡寺院制度や職人や絵師への位階の授与や、楽人・盲人・鋳物師・芸能者への権威づけなどに着目した。いわば幕府と朝廷が一体と

なつて幕藩制の「公儀」を担ったのである。そして一九八〇年代以降に江戸時代の天皇や朝廷の研究が、一挙に進んできた。

さらに朝廷と幕府との関係が、江戸時代を通じて変化することも明らかになった。一七世紀後半の元禄時代に、朝廷を幕府が統制する「武断」政治の時代から、朝廷の文化・学問や権威を幕府の政治に利用しようとする「文治」政治の時代へと、大きく転換する。

その頃、大坂に経済の中心が移るとともに、京都は朝廷や御所をブランドとした「京都らしさ」が、観光の資源となつて、京菓子、京扇子、京紅など、「京」を冠する京都文化



内裏細覧之図 慶応2年(1866) 左側が北(京都市歴史資料館所蔵)

江戸時代後期には、天皇と公家町は京都観光の目玉となり、京に上つた人々は、公卿門(宜秋門)前で檜垣の茶屋で酒肴を求め、一杯やりながら参内する公家たちを見た。観光の手引きとしての内裏図の刊行もさかんになつた。また江戸時代を通じて、天皇の即位式の時には、紫宸殿の南庭で拝観したり、節分の豆の授与やお盆の燈籠の飾

が、社会に定着した。また応仁の乱前後より二百年ほど断絶していた、賀茂祭、石清水放生会、大嘗祭などの朝儀が、幕府の援助のもとに復興した。

また公家町の面積は一七世紀には幕末の北半分しかなかったのが、一七〇八年の宝永の大火を契機として、復興後の公家町は南限が丸太町まで広がつた。

その原因には、公家社会の人口増加とともに幕府が朝廷を重んじる政策に転換したことが考えられるだろう。それに伴い、六門(中立売・今出川・乾・石薬師・清和院・堺町)から南に拡張した寺町・下立売・蛤の三門を加え、現在の九門へと増えた。



正月の禁裏御所南西角の様子 秋里籬島『拾遺都名所図会』天明7年(1787)より(国際日本文化研究センター所蔵)

り付けには、京都の庶民が禁裏御所の中、天皇の身近まで入ることができた。かくして江戸時代に人々に身近な存在であった朝廷は、幕末のペリー来航以降、国政の場へと浮上することとなった。

その後、一八六九年三月の東京遷都は、七九四年の平安遷都以来の朝廷の京都からの離脱となつた。天皇や公家たちも東京に移り、京都御所は荒廃するとともに、京都府の管理に移り、一八七二年以降に京都博覧会の会場となつてゆく。一八七七年の明治天皇の京都行幸を経て、一八八三年の岩倉具視の京都復興策による京都御苑の宮内省移管を画期として、厳肅な代替わりの大礼を行う場へと意味づけが変わつてゆくこととなる。

(京都大学人文科学研究所所長)

自然・いのちのつながり 自然を心の目でみよう

塚本珪一



黒木の梅から建礼門を望む

「黒木の梅」の花を訪ねくる蝶や鳥たちを迎えることです。ある日には元気なヒヨドリを、別の日には冬を成虫で越してきたルリタテハをみつけました。次はアカタテハだと期待し、この花の季節の日々は楽しいのでした。

青葉の頃になると、御苑南西部の宗像神社の森に、遠い南からのアオバズクがやってきます。私たちはいのちの探索に忙しくなります。アオバズクは径300メートルの範囲で昆虫類(90%)その他(10%)を捕らえ食べていますから、私たちはその食べ残しに食痕から、

サン・テクジュペリの「星の王子様」は、何度読んでも新鮮でわくわくします。一番すばらしいところは王子様がキツネと話すところ。心で見なくちゃ、ものごとはよく見えなくていいことさ。自然の観察と心の目で観ることはどう違うのでしょうか?王子様の友達のキツネは、「あんたの花は一つしかないよ」と言った。それからはその時に出合った自然を大切に、それが私の心の目でみたことであると、フィールド・ノートにくわしく書き留めました。

春の日の楽しみは、南の間ノ町口から建礼門が望みできる



ウシカメムシ 8~9mm

学生コラム

浮出絵ラリー

同志社大学文学部文化史学科3回生
小林丈広ゼミ 竹谷 哲也

京都御苑の駒札に浮出絵が設置されていると知り、絵の完成に挑戦してみました。中立売南休憩所+PLUSで温かくて美味しい鍋焼き天ぷらうどんをいただいた後、A4の紙と鉛筆をもってスタートしました。その日はあいにくの雨だったので途中で断念し、翌日に再開しました。縣井で猫を見つけたり中山邸跡で業者の方に激励していただいたりしながら二時間半ほどで完成しました。私が取り組んだときは梅の絵になりましたが、絵は四季ごとに替わるそうです。駒札は京都御苑内にバランスよく配置されているので作業を楽しみつつ満遍なく見学することができます。駒札をしっかり読めば歴史の知識も身につくでしょう。特に京都御苑に関する歴史と自然の情報も学べる閑院宮邸跡や堀に大きな切込みの入った御所の鬼門「猿が辻」が印象に残りました。京都御苑を訪れる際にはぜひ浮出絵にもチャレンジしてみてください。



浮出絵



駒札



出水の枝垂れ桜は人気の撮影スポット

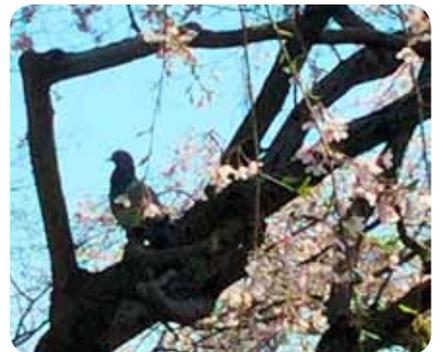


ずっと眺めていたい八重桜

取材で桜を追いかけ暮らしが続いています。決まって出かけるのが京都御苑。山桜など野生種が大半で、三月中旬からゴールデンウィークまで、千本以上の桜が楽しめる。あつては、通わずにはおられません。御苑の桜めぐりは、烏丸通沿い、平安女学院大学有栖館(旧有栖川宮邸) 枝垂れ桜の開花が合図です。まずは苑内北西、池面まで枝を大きく広げる近衛邸の糸桜のもとへ。それが終わる頃、咲き始める八重紅枝垂れ桜も見逃せません。京都御所清所門前の車返桜、出水の小川付近、黄緑色の花卉をつける「御衣黄」など珍しい品種にも会いに行きます。昨年は出水の枝垂れ桜を夕刻まで眺めていました。満開を過ぎ、はら

はら舞う花びらは、逢魔が時にはそれはもう妖しく美しく切なく。毎年、同じ桜を眺めることは、平安の昔から自分の内面も「眺める」ことにつながるのでしょう。出水の小川を彩る里桜の出番は、四月半ばからゴールデンウィーク前まで。今年も、そのキュートな姿を愛でながら、久しぶりにお弁当を広げようかと考えています。

(編集イベントコーディネーター・日本ペンクラブ会員)



近衛邸近くの山桜にたまたま留まっていた鳩を発見

132種の昆虫が生活していることを教えられました。御苑の生きものたちの多様性も次第に見えてきました。

アオバズクは、母と子の森、近衛邸跡の森などにも営巣しています。遠い国からやってきたアオバズクが、夏の終わりにはこの国の御苑のすばらしさをお土産に無事帰ってくださることを祈りたいと思います。

御苑北東部の母と子の森は、想像・創造の森で、子どもたちは自由に遊び、トトロの抜け穴の発見、森の図書館での読書、紙芝居などで遊び時間を過ごしています。このあたりは広葉樹がたくさんあって、虫や野鳥も多いところですよ。

季節が進み、天空から降り落ちるイチヨウの黄葉は子どもたちへのお手紙でしょうか、何が



コナラシギゾウ? 5.5~10mm



アオバズクの親子

書いてあるかは秘密です。

バードバスⅡ鳥のための水場には四季それぞれに、たくさん野鳥がやってきて、賑やかな日もあります。ここは、人たちにとっての情報交換の場でもあって、御苑の生きものたちとヒトのいのちのつながりが話されています。野鳥の会や研究者など多くの人たちが観察の時を過ごしています。

野鳥や蝶、セミ、トンボなど比較的良く分かっている仲間もいますが、蛾の仲間・コウチュウ類などはまだよく解っていません。御苑は京洛の地の中心で、四周の山々や河川、小さな森と大小の回廊とつながり、季節や天候の変化と共に動き変動しています。御苑は私たちが生きものたちとのつながりを考える出発点と言えるでしょう。

(京都自然観察学習会)

■イベントのお知らせ

京都御所の通年公開

公開日：通年(事前申し込み不要/無料)
ただし、下記は休みとなります。
月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月28日~1月4日)
公開時間：3月/9:00~16:30(入場は15:50まで)
4月~5月/9:00~17:00(入場は16:20まで)
お問合せ：宮内庁京都事務所 ☎075-211-1215

京都御所 宮廷文化の紹介(平成30年春)

宮廷文化の魅力を紹介する特別イベントを開催します。期間中は、高御座・御帳台などを近くで見学できるほか、普段非公開の調度品や人形、雅楽や蹴鞠の実演などがご覧いただけます。
期間：平成30年4月4日(水)~8日(日)
公開時間：9:00~16:30(入場は15:50まで)
入場門：直秋門
お問合せ：宮内庁京都事務所 ☎075-211-1215

京都迎賓館一般公開

日本の歴史・文化を象徴する京都で、海外からの賓客をお迎えし、日本への理解と友好を深め

ていただくための国の迎賓施設です。
公開日：迎賓館ホームページでご確認ください。
参観料金：大人1,000~1,500円 中高生500~700円
お問合せ：迎賓館京都事務所 ☎075-223-2302

京都御苑春の自然教室

日時：平成30年4月22日(日) 9:30~12:00
受付：9:00~9:20
集合：石薬師御門(京都御苑北東、地下鉄今出川 京阪出町柳 徒歩10分 市バス同志社前 徒歩5分)
講師：京都自然観察学習会の先生方
内容：春の御苑の植物、キノコ、昆虫や野鳥の生態を観察します。



参加費：100円(保険代)
主催：環境省京都御苑管理事務所 (一財)国民公園協会京都御苑
その他：筆記用具、雨天時の準備、野外活動に

適した服装でご参加ください。ルーペ、双眼鏡など観察用具があると便利です。
*当日7:00時点で大雨、暴風警報が発令されている場合などやむなく中止する場合があります。

新緑のトンボ池一般公開

普段は立入りを制限している「トンボ池」を公開します。自由に見学ができますので、散策の折などお立ち寄りください。(雨天中止)
日時：平成30年5月25日(金)~27日(日) 9:30~12:00
場所：京都御苑内トンボ池(富小路北東へ徒歩5分)
参加費：無料
主催：環境省京都御苑管理事務所 (一財)国民公園協会京都御苑

その他：野外活動に適した服装でご参加ください。捕虫網や三脚の持ち込みはご遠慮ください。



■苑内利用施設・サービスのご案内

閑院宮邸跡収納展示館

京都御苑南西角の旧閑院宮邸跡地に建つ公家屋敷の風格残る旧宮内省建物の遺構。収納展示室では京都御苑の歴史や自然が学べます。(無料)
開館時間：9:00~16:30(入場は16:00まで)
休館日：月曜日(祝日は開館)、年末年始
アクセス：御苑南西角 地下鉄丸太町徒歩5分

拾翠亭(茶室)

五摂家の一つであった九條家の遺構で江戸時代後期に建てられた九條家別邸。
公開日：毎週木・金・土曜日、葵祭、時代祭 9:30~15:30 参観料 100円(高校生以上)
貸切利用：茶会、句会、謡曲等の会合にご利用できます。利用料12,000円~

休憩所(レストハウス・売店)

休憩やお食事・喫茶にご利用ください。京都御苑オリジナルのお土産物を多数揃えています。
営業時間：9:00~16:30
中立売南休憩所(御苑西側中立売御門南すぐ) 軽食・喫茶、売店(京みやげ)
中立売南休憩所+PLUS
2017年11月17日に中立売南休憩所に隣接して新規オープンしました!食堂、売店(京みやげ)

一中立売地区再整備工事のお知らせ

中立売北休憩所は、現在建替え工事中です。新休憩所の竣工は2018年12月頃の予定です。オープンまでの間、御苑利用者の皆様方には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

富小路休憩所(御苑南東富小路口すぐ、テニスコート隣接)軽食・喫茶、菓子等の販売。

駐車場

料金：乗用車500円 バス1,300円(最初の3時間)
中立売御門西駐車場(乗用車、バス)
入場 7:40~19:30 出場 24時間

一中立売御門西駐車場出入口変更のお知らせ
再整備工事に伴い、駐車場出入口を中立売御門から蛤御門に変更(2019年1月初旬頃までの予定)。進入は、烏丸通を南下して左折のみとなります。

清和院御門東駐車場(乗用車専用)
入・出場 8:40~20:00(20:00以降閉鎖)

運動施設

富小路テニスコート(5面) 有料
富小路広場(6面)/今出川広場(3面) 有料
軟式野球・ソフトボールなどにご利用下さい。
申し込み：国民公園協会京都御苑

京都御苑さくらマップ



Table with 4 columns: 2月, 3月, 4月, 5月. Rows include 毛モ(桃林), イトザクラ(近衛邸跡周辺), ヤマザクラ(苑内全域), サトザクラ(出水の小川付近).



会員募集(2018年度)のお知らせ

2018年度(2018年1月~12月)の国民公園協会京都御苑会員を募集します。
年会費
●普通会員..... 1,000円以上
●賛助会員(会社・団体)..... 10,000円以上

- 会員特典
1 京都御苑ニュースの送付
2 葵祭及び時代祭の観覧席招待券の進呈(ただし普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。)
申し込み・お問合せ先 (一財)国民公園協会京都御苑



編集後記

明治150年記念の第二弾として京大人文研の高木教授に御執筆いただいた。江戸後期の御所と庶民との関係が興味深い。御苑には近代の歴史が積層する。是非足を運んで歴史に触れてみてください。(発行人 池田善一)

企画・発行/お問合せ先

一般財団法人 国民公園協会 京都御苑
〒602-0881 京都市上京区京都御苑3
TEL 075-211-6364

編集 白川書院 監修 環境省京都御苑管理事務所

